

1. 将来像 みんなの夢 まちの魅力 ともにつくる 伊丹

これからの10年間
それぞれが行動しできることを担い合う
真の協働の仕組みをつくり出す

また、この将来像を実現するために、以下に示す1つの基本目標と、4つの政策目標を設定しました。

2. 目標

基本目標 市民が主体となったまちづくりの実現

本市はコンパクトな都市機能の集積と、大都市近郊にあって自然と身近にふれあえる生活環境の豊かさ、そして歴史と文化の薫りあふれるまちなみと、バランスの取れた生活の場としての魅力を多く備えており、それぞれが本市の「生活に快適さ・便利さ」を構成しています。

そして、人と人との社会的なつながりが持つ「市民力・地域力」の豊かさは、子育て・教育や、環境保全などの各分野における市民の自発的な活動として、毎日の生活に根付いており、活力ある地域生活を支えています。

これからの10年は、規模や数量の拡大に重きを置く価値観から、持続的な発展を創意工夫で追求するという価値観への転換期です。

これまでの地域資源を最大限に活用し、このまちに住む喜びや人のつながりを大切にすることに視点をあてて考える必要があります。

そして、市民が自発的にまちづくりに参画・協働することにより、まちの新しい個性や魅力、活力を創造し、また、その活動を通してまちへの誇りと愛着を持つことに結び付けていく必要があります。

その地域社会の基盤となるのは、多様性を認め合い、「お互いさま」で成り立つ人と人とのつながりを大切に

する共生社会にほかなりません。また、その社会を次世代に受け継いでいくには限られた経営資源の重点的投入と効率化を図り、自主的な行政運営に変革する必要があります。

本市が目指すべき将来像を実現するために、本計画では次の3点を施策展開にあたっての基本方針として、これからの10年間のまちづくりを進めていきます。

- ① 参画と協働による市民自治
- ② 多様性を認め合う共生社会
- ③ 自主的な行政運営

政策目標

基本目標と3つの基本方針を踏まえ、目指すべき将来像を実現するためのより具体的な目標として、4つの政策目標を設定しました。

- 1 支え合いの心でつくる安全・安心のまち
…キーワード【健康・安心】
- 2 未来を担う人が育つまち
…キーワード【育ち・生きがい】
- 3 にぎわいと活力にあふれるまち
…キーワード【活力・にぎわい】
- 4 環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち
…キーワード【環境・うるおい】

3. 将来人口 目標年次(平成32年)人口は197,000人。世帯は80,800世帯。1世帯あたりの人員を2.43人。

4. 計画概要

1. 基本目標 市民が主体となったまちづくりの実現



市民が、いきいきと暮らし、生きる喜びをともに感じ、住むことを誇りにできるまちを創造していく基盤は、市民一人ひとりが主体となった参画と協働による市民自治にあります。豊かな市民自治の実現を目指し、市は、市民生活に最も近い基礎自治体として、地域の特性や課題に即したまちづくりのために、市民、事業者など多様な主体が連携して活動できる仕組みづくりと、それを支えるための行政スタイルへの変革を進めます。



基本方針1. 参画と協働による市民自治

基本施策1 行政情報の積極的な公開・共有に基づく市民の市政への参画

基本施策2 協働のまちづくり

基本施策3 地域コミュニティの基盤強化

前期の主な事業
▷まちづくり基本条例の推進 ▷協働の方針の策定 ▷地域ビジョンの策定 ▷地域活動拠点の整備

成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
市民公募委員充足率(%)	↑	審議会等の市民公募委員の充足率(市民公募委員数/市民委員数)	65.6	80
市民活動件数(団体)	↑	まちづくりプラザ登録団体数	113	170

(※指標の性質…上げたほうが良い指標は「↑」、下げたほうが良い指標は「↓」、現状を維持することが良い指標は「→」を記載しています。さまざまな事業の成果指標から代表的な例を取り上げました。)

基本方針2. 多様性を認め合う共生社会

基本施策1 人権尊重のまちづくり

基本施策2 平和な社会づくり

基本施策3 男女共同参画の推進

基本施策4 多文化共生のまちづくりと国際交流

前期の主な事業
▷人権学習指導者養成 ▷人権啓発推進委員の活動支援 ▷DV対策事業 ▷ホームページ自動翻訳システムの導入

成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
人権教育・啓発事業への参加数(人)	↑	都市宣言市民集会参加者+人権ポスター・作文応募者+人権啓発標語応募者数(実数)	6,288	6,500
国際交流関連事業参加者数(人)	↑	国際姉妹友好都市交流・語学講座等国際交流に関連する事業の参加者数※実績値は過去5年間の平均値	2,432	2,560

基本方針3. 自主的な行政運営

基本施策1 分権に対応できる政策形成の基盤づくり

基本施策2 政策を形成し実現できる人づくりと組織づくり

基本施策3 柔軟で堅実な行政運営

前期の主な事業
▷PPPによる民間との連携・協働 ▷市民とともに政策立案し協働する職員の育成 ▷公共施設マネジメント(統廃合と有効活用) ▷行政プランの推進 ▷外郭団体等の見直し

成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
行政評価における施策進捗度(%)	↑	行政評価(事後評価時)で施策達成への進捗度が順調、ほぼ順調と評価された割合	87	100
経常収支比率(%)	↓	市税、地方交付税等の経常的な収入に対する人件費、扶助費、公債費等の経常的な支出の割合	98.7	95

2. 政策目標

政策目標1 支え合いの心でつくる安全・安心のまち



市民の安全が守られることは生活の基盤であり、また、安心して暮らせる質の高いまちづくりがますます求められています。

災害や感染症などの事態に迅速に対応できる危機管理や、適切な医療サービスを受けることのできる地域医療の充実などに、市民、事業者、関係機関と連携して取り組みます。

だれもが健やかで自分らしく地域で生活することができるよう、市民の心と体の健康づくりや地域でのつながり、支え合いによる協働の活動を支援します。

施策目標1. 安全・安心のまちづくり

- 主要施策1 災害に強いまちづくり
- 主要施策2 消防救急の充実
- 主要施策3 交通安全と地域防犯の推進
- 主要施策4 安定したライフラインの整備と供給

前期の主な事業

▷防災センターの整備 ▷尼崎市との高度消防指令センター共同運用 ▷いたみ健康づくり大作戦の推進(健診・食育・運動の推進など) ▷保健センターの移転・拡充 ▷伊丹病院の医師確保の推進・医療機器の整備 ▷アイ愛センター耐震化・大規模改修

施策目標2. 健康で安心して暮らせる地域保健・医療

- 主要施策1 自分で、地域で、健康づくり
- 主要施策2 安心できる地域の医療サービス
- 主要施策3 医療保険・福祉医療の円滑な運営



施策目標3. 支え合いを基調とした地域福祉

- 主要施策1 支え合ってつくる福祉のまち
- 主要施策2 元気、生きがい、安心の高齢者福祉
- 主要施策3 当たり前の暮らしを支える障がい者福祉

成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
ウォーキングポイント事業参加者数(人)	↑	ウォーキングの推進の取り組みとしてのウォーキングポイント事業の参加者(延べ人員)数	1,114	1,669
ボランティア養成講座受講者数(人)	↑	ボランティア・市民活動センターにおける各種ボランティア養成講座の年間受講者数(実人員)	189	200

政策目標3 にぎわいと活力にあふれるまち



これからは個性と魅力のある創造的なまちづくりによって都市の活力を高めていく時代です。

農業、工業、商業などの産業をはじめ芸術文化や歴史、景観や環境、福祉など、さまざまな事業活動や市民活動が連携し、空港をはじめとする地域資源を最大限に活用することにより、伊丹の魅力、強み、にぎわい、新たな仕事などを生み出す仕組みづくりを進めます。また、その担い手となる意欲を持った人材や団体などを支援します。同時に、市民、事業者が主体となって伊丹の魅力を発信して来訪者を誘引し、交流を深めながら、社会的・経済的活力を高めます。

施策目標1. 個性とにぎわいあるまちづくり

- 主要施策1 伊丹都市ブランド戦略の推進
- 主要施策2 中心市街地の活性化
- 主要施策3 文化資源の保存・継承・活用
- 主要施策4 芸術文化のまちづくり

施策目標3. 空港を活かしたまちづくり

- 主要施策1 空港との共生の推進
- 前期の主な事業
▷地域の特色を持った商品等のブランド化の推進 ▷中心市街地活性化基本計画の推進 ▷企業立地支援事業 ▷企業活動の活性化に向けた連携への支援 ▷農を支える市民の育成 ▷空港周辺のまちづくり支援

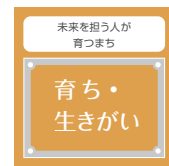
施策目標2. 活力ある地域産業の振興と創出

- 主要施策1 魅力ある商業の振興
- 主要施策2 地域産業の振興と創出
- 主要施策3 都市農業の振興
- 主要施策4 働きやすい環境づくり



成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
企業立地支援制度認定件数(件)	↑	企業立地計画の累積認定件数	4	19
農産物直売所「スマイル阪神」売り上げ額(百万円)	↑	農産物直売所「スマイル阪神」年間売り上げ額(百万円)	283	500

政策目標2 未来を担う人が育つまち



子どもが心豊かに育ち、若者がいきいきと活躍するまちづくりのために、子どもの最善の利益を尊重し、家庭を原点に地域など社会全体で子どもの「育ち」を支える環境づくりを進めます。

豊かな人間性を育み、確かな学力を付ける学校教育と、若者が生きがい・働きがいを持って社会に参画するための支援を充実します。すべての世代が自尊感情を持って社会の中で自己実現ができるよう、生涯にわたる学びを支援し、まちの活力と未来を支える人材の育成を図ります。

施策目標1. 子ども・若者・家庭・地域がともに育ちあう環境づくり

- 主要施策1 子どもの育ち・若者の自立を支援する環境づくり
- 主要施策2 家庭の子育て力を高める環境づくり
- 主要施策3 子育て・子育てを地域で支える環境づくり



施策目標2. 子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育

- 主要施策1 確かな学力の向上
- 主要施策2 豊かな心と健やかな体の育成
- 主要施策3 信頼される開かれた学校づくり

前期の主な事業

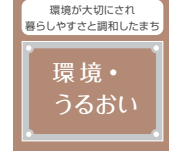
▷認定こども園の整備・運営 ▷子宮頸がん予防などワクチン接種の拡充 ▷発達支援センター整備 ▷「読む・書く・話す・聞く」ことば文化都市伊丹の推進 ▷学校園芝生モデル事業 ▷地域の教育力を活かした学校園づくり(町の先生等) ▷社会教育施設(新図書館)等の整備推進

施策目標3. ライフステージごとに学び活躍する人づくり

- 主要施策1 生涯にわたる主体的な学習の支援
- 主要施策2 生涯スポーツの推進

成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
保育所入所定員(人)	↑	認可保育所、認定こども園の認定保育所の定員	2,055	2,385
スポーツテストの県平均を100とした時の伊丹市の指数(指数)	↑	スポーツテストにおいて、県平均を基準にどれくらい向上しているかの割合	97	105

政策目標4 環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち



かけがえのない地球環境を守るため、市民や事業者、市などさまざまな主体が連携して、日常生活や社会経済活動などのあらゆる場面で、都市の構造そのものが環境と共生した暮らしやすいまちづくりを進めます。

水やみどり、土(大地)といった自然と調和したうるおいのある暮らしを守るとともに、都市が保有する資産を有効活用し、歴史を活かした都市景観を保全しながら、環境と暮らしが調和した持続的発展可能な美しいまちを目指します。

施策目標1. 環境適合型社会の実現

- 主要施策1 地球環境を大切にすまち
- 主要施策2 資源循環のまちづくり
- 主要施策3 生活環境の保全と創造



施策目標2. 水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生

- 主要施策1 公園とみどりの充実
- 主要施策2 自然環境との共生

施策目標3. 良質な都市空間の整備

- 主要施策1 計画的なまちづくりの推進
- 主要施策2 美しい都市景観の形成
- 主要施策3 交通ネットワークの充実および道路の整備

前期の主な事業

▷環境マネジメント事業の実施 ▷電気自動車・エコカー導入 ▷街路灯のLED化 ▷公園緑地等の健康遊具整備 ▷生物多様性計画戦略の策定 ▷民間住宅ストック活用 ▷都市景観形成事業 ▷都市計画道路・生活道路の整備

成果指標名(単位)	指標の性質	指標の意味(式等)	H21年度(実績)	H27年度
温室効果ガスの削減量(t-CO2)	↓	市の施設から排出される温室効果ガスの削減量(伊丹市温暖化対策実行計画)	19,473	18,500
地域清掃等支援件数(件)	↑	地域清掃等のごみ収集申込依頼件数	1,154	1,207